



中山間地域の田畑（成羽町日名）

ずつ返済していくことを考えると、合併特例債といえども負債であり、その活用は慎重に対応していかなければなりません。

産業振興、観光行政

集落営農組織および中山間地域への施策は――。

（川面、巨瀬、中井）

答

国は、平成19年度から実施する「経営所得

安定対策等大綱」を決定しました。

これは、今後の農業支援を認定農業者と一定の要件を満たす集落営農組織を「担い手」と位置付け、そこに集中支援をしていくものです。

同大綱では、中山間地域の認定農業者と集落営農組織については、面積の緩和特例が適用されることになっていきます。

市は担い手の育成・確保のため、できる限りの支援をしていきます。

農業相談センターとは――。

（松原）

答

今までも就農の相談窓口はありましたが、就農に限らずこの地域に住んで菜園を作りたいといった人でも相談ができるなど、幅広い相談を受けることにしています。また、農地や農家、そのほか農業に関係する問い合わせを一カ所で行えるようにしています。

なお、売りたい・貸したい

といった、空き農家・空き農地の情報をお待ちしています。

市民一人ひとりが、家の周りなどをきれいにしていけば、もっと観光のまち高梁になるのでは。

（高梁、津川）

答

町内会等市民の皆さんで環境美化に努めていただいています。ですが、気持ち良く市を訪れていただけるように一層ご協力をお願いいたします。

福祉・医療

成羽病院の建設は望んでいるが、公設民営という考えもあるのでは――。

（有漢、川上）

答

公立病院の目的は地域医療を支えることと、市民の安心・安全を支えることにあります。利益を



追求するものではありません。開院して今年で51年目になりますが、今まで健全経営を行っています。

成羽病院には、現在10科目の診療科目がありますが、そのうち市民の要望により不採算科目も運営しています。

建物は築後36年経っており、老朽化しています。建築費として、43億円がはじき出されていますが、実際の数字は、減額できると考えています。当然、公設民営も視野に入れていますが、地域医療に適したものとなるかどうかを含め、今後、慎重に対応していきます。

基盤整備

国道180号（段町～広瀬間）の歩道の整備について。
(玉川)

答

安心・安全のまちづくりを進めており、特に通学路については重点課題だと思っています。段町から広瀬間の延長2600以上の歩道整備については、今年度着工することが決定しています。今年度は河内谷付近を予定しており、工事は秋以降となりますので、通学には十分注意していただくようお願いいたします。



歩道の整備が決まった国道180号（段町～広瀬間）

見るように努めており、保護者にもお願いしてパトロールしてもらっています。地域の皆さんにもご協力をお願いし、みんなで子どもたちを守っていきたいと考えています。

教育・文化

小中学生の登下校中の安全について。
(中井、玉川、高倉)

答

小中学生にとって登下校中の安全確保は大切なことであり、この地区で事故等が絶対起こらないということは言えず、未然防止のためにはパトロールが重要になってきます。教職員も可能な限り登下校中の様子を

各学校では、来訪者には職員室から職員が確

認して対応し、職員室が入口と離れている場合はカメラ付ドアホンを設置するなどして、監視体制を整えています。

新図書館建設計画の進捗よく状況について教えてください。(高倉)

答

検討委員会を設けて研究を進めていますが、具体的な内容はまだ決まっています。現在は県内外の図書館を視察し、情報を収集している段階です。単独

防災

避難場所等の周知をもっとするべきでは。また、緊急時に避難場所での対応は。
(落合、成羽)

答

避難場所については、広報紙(6月号)や市ホームページ(避難場所一覧)に掲載してお知らせしています。また、避難場所を示す看板が設置されていない場所や、名称を改める必要がある場所については、年次計画により順次看板の設置および更新等を行っていきます。

避難所の開設が必要な場合には、防災計画により地域市民センターに職員を派遣するほか、避難所に駐在員を配置し、避難所の管理にあたりま